

## 令和3年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書 【1年目】

P T A名	静岡県立伊豆の国特別支援学校 伊豆松崎分校 P T A
学 校 名	静岡県立伊豆の国特別支援学校 伊豆松崎分校 <input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input type="checkbox"/> 小学部 <input type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
全校児童・生徒数	19人

### 1. 使用状況

寄贈物品名	トーンチャイム
使用学年及び人数	高等部全学年(19人)
使用頻度	昨年12月～2月までの間(音楽の授業 毎時間)
使用状況	音楽の授業「楽器に親しもう(器楽)」で使用した。難易度別の3グループに分かれて練習を重ね、発表会では、全生徒でトーンチャイムによる合奏を行った。
物品の使用による変化や効果	新型コロナウイルス感染症予防のため、歌唱指導や、楽器の共有が難しくなり、制限がある中で、生徒が伸び伸びと音楽のすばらしさを感じられる教材の必要性を強く感じていた。今回、トーンチャイムを寄贈していただいたことで、全ての生徒が人と共有することなく楽器を手にすることができ、感染予防対策に時間を取られることなく、十分に演奏を楽しむ機会を得ることができた。また、演奏の仕方によりその音色が大きく変わるトーンチャイムに興味関心を持ち、試行錯誤しながら、より美しい音を鳴らそうと意欲的に活動に取り組むことができた。
今後の活用の見通しや課題	今後も、音楽の器楽を扱う単元で、様々な曲の演奏に取り組み、発表会などを行っていく。
その他 希望や所感など	トーンチャイムは、担当する音の種類や数によって簡単に難易度を調節することができるので、伊豆松崎分校のように少人数で生徒の実態差の大きい集団での音楽指導にふさわしい楽器であると感じた。また、振るだけできれいな音を簡単に出すことができるため、楽器の演奏が苦手な生徒でも意欲を持って活動に参加することができた。

## 2. 活用の様子



・楽譜を見ながら、練習をしています。



・鳴らし方の練習からスタートしました。